

## コメント

### 1 インフルエンザ

定点当たり16.72人の報告があり、注意報レベル(定点当たり10)を上回る水準が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が26件報告されています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

### 2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.94人の報告がありました。減少速度が鈍化しており、注意が必要です。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

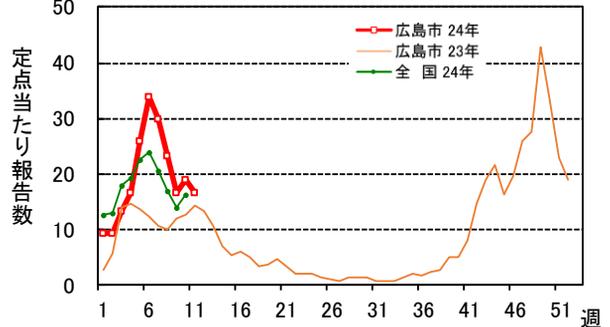
### 3 感染性胃腸炎

定点当たり8.61人の報告があり、多い状況が続いています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を徹底しましょう。

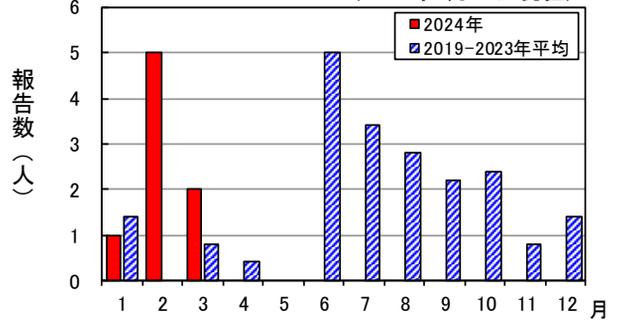
### 4 腸管出血性大腸菌感染症

今年の累計は8件となり、例年の同時期と比べて多い状況です。感染予防のため、加熱して調理する食品は十分に加熱し、生野菜は十分に洗いましょう。また、食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で手を洗いましょう。

インフルエンザの流行状況



腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市) (2024年3月17日現在)



## 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	602	16.72	3.75	◇	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.05	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	106	2.94		◇		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.06	
小児科	RSウイルス感染症	12	0.52	0.16		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	16	0.70	0.24	◇		流行性角結膜炎	3	0.38	0.28	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68	2.96	1.06	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	198	8.61	4.73	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	-	-	0.15			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	手足口病	9	0.39	0.09			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.14			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	0.12	
	突発性発しん	6	0.26	0.31							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

## 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	8	10歳未満・O26、40歳代・O26
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1	10歳未満
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	4	10歳未満
5	梅毒	7	30	20歳代・1人、30歳代・2人、40歳代・3人、50歳代・1人

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス(COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
																					第7週
広島市	第7週	1,047	251	1	30	69	176	3	14	-	3	-	-	-	11	-	-	-	-	1	-
	第8週	833	166	1	36	66	189	2	12	-	4	-	-	7	-	-	1	-	-	-	-
	第9週	592	121	12	22	61	207	1	11	-	3	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
	第10週	678	122	12	19	81	174	1	11	-	5	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-
	第11週	602	106	12	16	68	198	-	9	-	6	-	1	3	-	-	-	-	-	-	1
定点当たり	第7週	29.91	7.17	0.05	1.36	3.14	8.00	0.14	0.64	-	0.14	-	-	1.38	-	-	-	-	-	0.14	-
	第8週	23.14	4.61	0.04	1.57	2.87	8.22	0.09	0.52	-	0.17	-	-	0.88	-	-	0.14	-	-	-	-
	第9週	16.44	3.36	0.52	0.96	2.65	9.00	0.04	0.48	-	0.13	0.04	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-
	第10週	18.83	3.39	0.52	0.83	3.52	7.57	0.04	0.48	-	0.22	-	-	1.13	-	-	-	-	-	-	-
	第11週	16.72	2.94	0.52	0.70	2.96	8.61	-	0.39	-	0.26	-	0.04	0.38	-	-	-	-	-	-	0.14
全国	第9週	13.97	7.00	0.29	0.95	3.90	5.48	0.13	0.22	0.02	0.21	0.03	0.03	0.01	0.45	0.01	0.01	0.08	-	0.01	-
	第10週	16.14	6.53	0.37	0.88	4.41	5.61	0.14	0.17	0.02	0.20	0.03	0.02	0.02	0.43	0.02	0.02	0.12	-	0.01	-

## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.3°C) 鼻炎	11	2024/02/19	鼻汁(拭い液)	B型インフルエンザウイルス(ビクリア系統)
感染性胃腸炎	発熱(38.6°C) 下痢 腹痛	1	2023/11/25	糞便	サポウイルス アデノウイルス2型
流行性角結膜炎	結膜炎 眼結膜の発赤 結膜周擁充血 眼瞼浮腫	45	2024/02/13	結膜擦過物	アデノウイルス37型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.6°C) 気管支炎 細気管支炎 鼻炎	3	2024/01/28	鼻汁(拭い液)	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.3°C) 咽頭炎 下痢 肝機能障害	10	2024/02/07	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス(ビクリア系統)

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## ★ 麻しん(はしか)の流行について

現在、海外で麻しんが流行しています。国内でも、海外からの輸入例や輸入例からの感染事例が相次いで報告されており、今後、感染が拡大する可能性があります。注意が必要です。

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力は極めて強く、空気感染・飛沫感染・接触感染によって感染します。感染すると、約10~12日後に、発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。38度前後の発熱が2~4日間続いた後、39.5度以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症すると言われており、先進国であっても1,000人に1人が亡くなる病気です。

最も有効な予防法はワクチン接種で、2回接種による免疫獲得率は97~99%以上とされています。

### 麻しんに注意しましょう!

- ◆ 海外渡航する際は、事前に予防接種歴を確認し、2回接種していない方は、予防接種を受けることを検討しましょう。
- ◆ 麻しんが疑われる症状が見られた場合は、医療機関に電話連絡の上、公共交通機関の利用は可能な限り避けて受診しましょう。
- ◆ 子どもの定期予防接種は忘れずに受けましょう。

#### 【参考】

海外における麻しん(はしか)の流行について(広島市)  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/337869.html>



#### 【参考】

麻しんについて(厚生労働省)  
[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html)



## 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」  
 TEL 082-241-4566  
 (24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」  
 TEL 0570-000-510  
 (健康相談 24時間、一般相談 8:30~18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



#### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp